

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	真鶴港
指定管理者	真鶴町
指定期間	H23.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	砂防海岸課（ 県西土木事務所小田原土木センター ）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 概ね事業計画に沿った内容であることを考慮し、B評価とした。</p> <p>< 2 収支状況 > 維持管理費用の増により、小額の赤字分が発生しているが、概ね計画どおりの収支状況であるため、B評価とした。</p> <p>< 3 利用状況 > ヨット係留者等との意見交換を行い、意見の吸い上げを適宜行っていることを考慮し、B評価とした。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > アンケート回収数が少ないが、各段階の評価比率から、D評価とした。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 職員対応などソフト面に係る苦情・要望等はないものの、港の魅力増進を図ることの要望が複数あったことを考慮し、C評価とした。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 悪条件が重なったことによるボート間の接触事故については、事故直後に所有者へ一報入れた対応を評価するものの、事故処理に時間を要したこと等を総合的に評価して、C評価とした。</p> <p>< 今後の方針等 > 利用者の満足度を向上させるためにも、港の魅力づくりに向けた自主事業の展開に努めてもらいたい。</p>

1 管理運営等の状況

評価 B

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 船舶の岸壁利用やヨット係留等に係る利用承認業務	実績又は今後の見込みを記載 下半期分で岸壁利用は計24件、係留は計48件と指定管理者として適切に業務を遂行した。また、入出港届についても、計25件の受理を行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 港湾施設維持管理業務の実施	実績又は今後の見込みを記載 同港は観光客等が多く訪れることから、琴ヶ浜の公衆トイレなどを毎日2名体制で清掃及び巡視業務を実施。また、水銀灯自動点滅器やヨット係留施設チェーンの修繕業務を行った。
3 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 真鶴港みなとまちづくり協議会の開催	実績又は今後の見込みを記載 平成25年10月24日に「海神のまち豊漁豊作祭」に向けた協議会を開催した。主題として、11月16日の祭礼時におけるヨット体験乗船や海上保安庁巡視艇体験乗船等の協賛事業について意見を交わした。各体験の実施回数は前年度より増やし、結果としてヨット体験乗船は一日4回、参加人数は計117名、海上保安庁巡視艇体験乗船は一日3回、参加人数は計60名であった。
4 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 ヨットオーナーズクラブと意見交換会を開催	実績又は今後の見込みを記載 平成25年10月24日、平成26年3月20日に真鶴港ヨットオーナーズクラブと県、町の間で意見交換会を実施した。参加者はそれぞれ11名、10名で日頃から真鶴港へ係留しているヨットオーナーと直接意見交換をすることにより、例えばシャクルの交換やトイレの整備といったオーナーが感じている具体的な要望の吸い上げを行った。
5 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 平成25年11月16日開催の「海神のまち豊漁豊作祭」において、利用者からアンケートを実施した。	実績又は今後の見込みを記載 左記アンケートを実施した結果、21名から回答があった。結果を見ると、来客数としては小田原市・真鶴町・湯河原町を除いた近隣市町村の方が45%と最も多く、性別では男性(60%)が多かった。目的としては、観光(70%)、利用頻度については年1回(50%)など、様々な利用者の意見を把握することができた。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月6日	11月19日	○	—	—	無	
11月	12月4日	1月9日	○	—	—	無	
12月	1月9日	2月5日	○	—	—	無	
1月	2月5日	2月14日	○	—	—	無	
2月	3月4日	3月31日	○	—	—	無	
3月	4月4日	5月15日	○	—	○	有	月例報告の前に話のあった係留ヨットの損傷に係る事案報告の記載がなかったため、事実整理の上、記載するよう指導。

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)					0			0	
年度計画	前年度	15,758	0	0	15,758	16,093	0	▲ 335	
	上半期	7,936			7,936	7,862		74	
	下半期	7,822			7,822	8,231		▲ 409	
	今年度	15,769	0	0	15,769	15,869	0	▲ 100	
	上半期	7,902			7,902	7,902		0	
	下半期	7,867			7,867	7,967		▲ 100	
上半期合計		7,902			7,902	7,923		▲ 21	
対収支計画比		0.0%			① 0.0%	② 0.3%	③	▲ 0.3%	
通年実績	10月	0			0	1,176		▲ 1,176	
	11月	0			0	1,161		▲ 1,161	
	12月	4,344			4,344	2,179		2,165	
	1月	0			0	1,160		▲ 1,160	
	2月	3,523			3,523	1,138		2,385	
	3月	0			0	1,134		▲ 1,134	
	下半期合計		7,867	0	0	7,867	7,948	0	▲ 81
	対収支計画比		0.0%			① 0.0%	② ▲ 0.2%	③	▲ 1.0%
	通年合計		15,769	0	0	15,769	15,871	0	▲ 102
	対収支計画比		0.0%			① 0.0%	② 0.0%	③	▲ 0.6%
参考	前年度 下半期実績合計	7,856			7,856	7,934		▲ 78	
	対前年度 下半期実績比				0.1%	0.2%			

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（収支計画支出額対比）	○	○	○	修繕費や電気光熱費など施設の維持管理業務の出費が増えたため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	594	琴ヶ浜トイレ駐車場・防護柵補修工（594千円）
下半期	2,205	コンクリート舗装補修工（525千円）、琴が浜トイレタイル補修工（315千円）、係留チェーン取替工（1,365千円）
合計	2,799	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 B

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	178 人	255 人	69.8 %
11月	253 人	226 人	111.9 %
12月	203 人	146 人	139.0 %
1月	118 人	150 人	78.7 %
2月	61 人	59 人	103.4 %
3月	196 人	208 人	94.2 %
合計	1,009 人	1,044 人	96.6 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	1,009 人	1,044 人	人	① %	② 96.7 %
上半期計	1,763 人	1,734 人	人	① %	② 101.7 %
合計	2,772 人	2,778 人	0 人	① %	② 99.8 %

※目標値の設定の有無

	設定していない		
期間	—	その他の場合の期間	=====
基準	—	その他の場合の基準	=====

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)				
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	×	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能人数

							合計
定員(1日あたりの延べ人数)							0
年間利用可能日数							
最大人数	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 D

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	1	6	11	1	1	20	7 (35.0%)
〔参考〕 上半期結果						0	0 ()

※今年度の実施予定

上半期 0 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 21 件

回収 21 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 C

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管 課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	4 (0)
〔参考〕上半期結果	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	魚座の駐車場が混むし、狭い。 岸壁駐車場の利用時間を延長して欲しい。	検討中
	岸壁の近くにトイレが欲しい。	検討中
職員対応		
事業内容		
その他	港を眺めるのみという楽しみだけなので、 もう一步の魅力がほしい。	検討中

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価

C

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
12月12日	ヨット係留施設において、1艇のシャックルが切れたことに伴う艇同士の接触。	強風が吹いていたことから船体の揺れに伴うシャックルの破損。	同日中にヨット所有者に対し指定管理者から連絡を入れ、応急処置済み。しかし、県への報告と所有者との協議に時間を要したため、事案が起きた場合には速やかに報告するよう指導。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		